

IoT 硫化水素モニタリングシステムの開発

〔代表〕東北緑化環境保全 株式会社 岡田 真秀

キーワード：硫化水素、地熱発電、環境測定、環境アセスメント

NEDO 委託研究開発で硫化水素の遠隔測定が可能な連続モニタリング装置の開発に取り組んでいます。

【主な開発項目】

小型連続測定器

測定原理／定電位電解式センサ
測定範囲／0.01～5 ppm 程度を目標



2026 年度から
販売開始予定

GASTEC

低濃度領域測定器

測定原理／独自の湿式ケミカルデバイス技術
測定範囲／0.0002～0.05 ppm 程度を目標



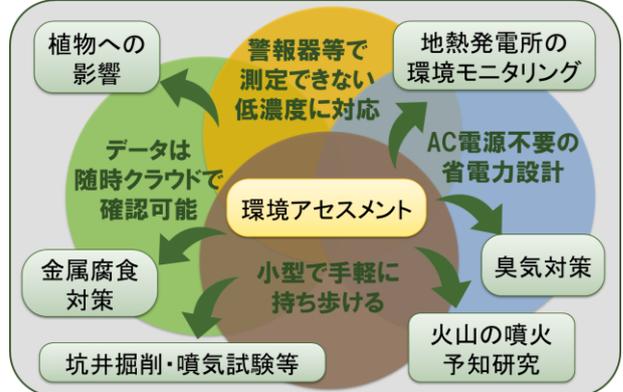
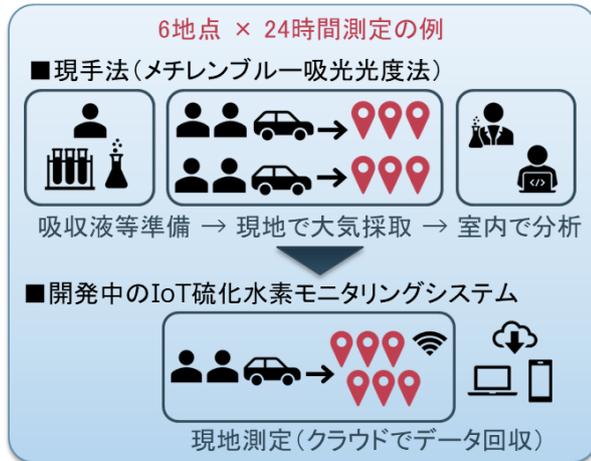
2024 年度に試作機
完成
予定

熊本大学
Kumamoto University

【目的】

地熱発電所の環境アセスメントにおける
大気中の硫化水素測定の効率化

これまで長時間の連続測定が難しかった
様々な分野の硫化水素測定への活用



AC電源を必要とせず、検知器等では検出できない低濃度の硫化水素を連続的に測定できる小型の可搬型測定器として活用が期待されます。

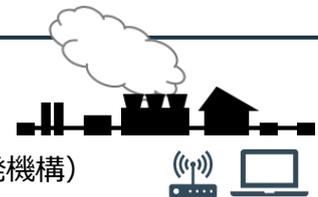
【概要】

○名称 地熱発電導入拡大研究開発／環境保全対策技術開発
「IoT 硫化水素モニタリングシステムの開発」

○委託 NEDO (国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)

○期間 2021～2025 年度

○体制 4 者の共同研究
東北緑化環境保全 株式会社
株式会社 ガステック
国立大学法人 熊本大学
一般財団法人 電力中央研究所



担当／東北緑化環境保全株式会社 事業本部
環境調査部 岡田 真秀 TEL/022-263-0918
E-mail/okada-m@tohoku-aep.co.jp